



インスピレーションに

2018~19年度

D-2700

No. 10

2018年10月5日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“インスピレーションになろう”

R I 会長：バリ・ラシン 氏

(所属：バハマ、イーストナッソー RC)

地区テーマ：“寛容と思いやり そして和の心”

地区ガバナー：岡野 正敏 氏(所属：門司西 RC)

クラブテーマ：“力を合わせて”

会長 角南 雅徳／幹事 坪根 悟郎



表紙写真(テーマ/大濠公園能楽堂)

大濠公園の湖畔に能楽堂が竣工したのは、昭和61年3月です。以降、毎年正月には、人間国宝・野村万作さんの「万作の会」が開かれており、今年で32回目です。夏には、野村萬斎さんの「萬斎の会」も22回開かれています。伝統芸能を守り継ぐ「万作の会」、「萬斎の会」です。

【撮影：辰巳会員 福岡にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30～13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：豊川 智彰

副委員長：井芹 重文

委員：井手 孝幸・宮島 俊司・城 健一郎・伊井 雅明・伊東 伸夫・弓削 康弘・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3373回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・会員卓話

西日本新聞社 北九州本社

執行役員北九州本社代表 青木 忠興 氏

第3371回 例会 記録

9月21日（金）普通例会

- ・ロータリーソング “それでこそロータリー”
- ・会員卓話

日本放送協会 北九州放送局長

大木 潤 氏

一になっています。この本の中で、月光会のことが取り上げられています。月光会(ルーナー・ソサイアティ)とは、1770年代、スコットランドのバーミンガムにて、月に1回・満月の晩に集まる会合の名称です。メンバーの家を持ち回りで、毎月例会を開いていたそうです。メンバーは、蒸気機関を発明したワット、そのエンジンを制作したボールトン、酸素の発明者プリーストリー、ガス灯の発明者マードック、中心はエラズマス・ダーウィン(チャールズ・ダーウィンの祖父)といった方々で、それぞれが専門を持っていました。同じ専門の人間通りで集まつても、批判的になって面白くない。企業も同族のみで占められると弱体化しやすい。新しい思考を生み出すには、似た者通しや同族ではなく、月光会のように、めいめいが別のことと専門にしていることが重要だ、ということだそうです。

ロータリーでは、今は少し条件が緩和されていますが、基本は、多様な職業人の参加を図るため、1つのクラブの中に、一業主1人とされています。外山さんの本の中でも、専門外の方で集まり議論を重ねる方式を、ロータリー方式と呼んで推奨しています。これほどのベストセラーの中に、ほんの1ページですが、ロータリーが取り上げられていたことに嬉しく思いました。また、現代の優秀な学生がこの本を読んで、異業種の交流の重要性を知り、ひいてはロータリーに対す

会長の時間

角南 雅徳 会長

『思考の整理学』という本について、お話をします。この本は、外山滋比古さんという当時お茶の水女子大の教授であった方が、主として学生向けに書かれた本です。1986年に書かれた本で、既に発刊から30年を超えてますが、現在でもロングセラーで、毎年、有名大学(早稲田や京都・東大等)で、生協の書籍ベストセラ

る好印象を持つのではないか、と思いました。これが多くの方の入会に結び付けばよいなと感じます。

来週は観月会です。小倉 RC が満月の夜に行う例会は、公式には来週のみです。我がグラブの“ルーナー・ソサイアティ”に是非、多くの皆さんの参加を期待します。

幹事報告

坪根 幹事

・来週の例会は、夜間例会の「夫人同伴観月会」です。場所はアーフエリーク迎賓館です。行きの送迎バスが18 時にリーガロイヤルホテル小倉を出発します。ご利用される方は、事前に事務局へお知らせください。

出席報告

佐竹 委員長

2018年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ [°]	出席率
当日の出席	66名	43名	—	74.14%
先週の出席	66名	43名	21名	96.67% 修正後

◆ゲスト 1名

・巖 子龍 氏(米山奨学生)

◆ビジター 1名

・兼行 美香 氏
(デュッセルドルフ
カイザープファルツ RC)



ニコニコ献金

南浦 SAA

15,000円 : 累計金額 138,500円

辰巳 和正 君

①9月15日に、大濠公園能楽堂にて第22回萬斎の会の親子三代の狂言を楽しみました。

②9月16日の博多ヨットクラブの湾外レースは、13艇の参戦で3着4位の成績でした。1着は52フィートのコンテッサ、2着は51フィートのメイビーで、セーリング日和の楽しいレースでした。

③9月19日に、福岡市民会館の4列中央の席から、三橋美智也メモリアルコンサートに出席する丘みどりさんの応援に出かけました。差し入れの品は、みどりさんの好物のシャインマスカットでした。

中村 文彦 君

先日の新会員オリエンテーションに多数参加していただき、ありがとうございました。

加藤 敏雄 君

お久しぶりです。バッヂもしていません。

赤坂 英典 君

久しぶりのロータリー。今後も宜しくお願ひします。

児嶋 昭 君

ギラヴァンツ北九州の玉井社長、卓話をありがとうございました。地元のファンが増えることを願ってニコニコ献金します。

佐竹 信也 君

保護司会研修のため途中退席いたします。ペコペコ。

会員卓話

日本放送協会 北九州放送局長

大木 潤 氏

『平成時代の日本政治と“政治改革”

～政治記者 20年体験談～



今日は私自身が政治記者として見聞きしてきたを中心にお話したい。私は記者としてNHKに入局し、平成元年から平成19年まで断続的だが20年近く平成の時代の政治取材に関わってきた。

NHKや新聞社の政治記者は、今も昔も最初は官邸クラブで総理番を務めるのが通例。私もそうだったが、なぜ最初が総理番なのかといえば、ひたすら首相を見張って誰に何分ほど会ったかといった事実を先輩記者に報告する単純な仕事だから。当時の首相官邸は記者が自由に歩き回ることが可能で、首相執務室の扉の前で来客を待ち構えることができた。一日に何度も首相に面会する官房長官にも記者団が「今は何の要件だったのか」といちいち訊ねるので、中曾根内閣の後藤田官房長官が「こんな官邸は世界中にはない」と怒ったそうで、その中曾根内閣の時に建設が決まった今の新官邸は、後藤田氏の申し送りで首相執務室などがあるフロアには記者が勝手に入れないなど警備が大幅に強化されている。

政治記者の中心は政権与党の担当で、私は自民党で森、小泉、安倍、福田というその後首相になる4人や亀井静香、平沼赳氏、石原慎太郎といった人たちが所属していた清和会という派閥を長く担当した。政治記者の最も重要な仕事は、こうした政権与党の幹部から政局に関する情報をいち早く取ること。そのために「夜討ち・朝駆け」といって政治家の自宅に毎日、朝晩通つて取材をする。ある程度関係ができれば、政治家の知りたい情報を記者から伝えて見返りに重要な情報を貰うといったようなことも行う。ただ、記者にとって大

事なことは情報を取つたらそれを世の中に伝えることであり、それを忘れて政治家と一体化してしまってはならないと自戒していたつもりだ。

昨日、自民党総裁選が行われ、予想どおり安倍首相が圧勝した。今回の総裁選については、例えば田原総一朗さんなども「自民党から自由な議論なくなった」と批判的なコメントをされているが、私から言わせれば、そうした政治制度にした結果で当然のことだと思う。今の衆院の小選挙区制というのは、一定の世論の支持さえあれば、首相=与党の党首が圧倒的に強い立場になる。そうした強い首相を作るのが平成の一連の政治改革の目的でもあった。小選挙区だと選挙の際の党の公認が死活的に重要なので公認権を持つ党首の立場は強くなるし、政治資金規正法が強化されて資金集めの主体も政党になった上、政党助成金制度も導入されたので、その配分権を持つ党首の立場は大変強い。

この制度の導入にあたっては、平成元年の竹下内閣の頃から激しい議論が行われ、5つの内閣を経て非自民の細川政権で成立したが、その時、最も激しく小選挙区制に反対していたのが小泉純一郎氏だった。私は海部内閣や宮沢内閣時代の自民党内議論を取材していたが、小泉氏の反対の理由は「こんな制度を導入したら自民党から自由な議論が消える」「執行部の独裁になる」というものだった。その時はピンとこなかったが、今の安倍一強と言われる現象はまさに小選挙区制導入の帰結であり、小泉氏はこの制度の本質を当初から深く理解していたということ。ただ、その小泉氏は自分が首相になった途端、この制度を徹底的に利用して反対派を排除し、トップダウンの政治を実現した。首相在任中の小泉氏に「あれだけ反対していた小選挙区制を逆に最大限利用していますよね」と言ったら、ニヤリとして「全くその通りだよ」と認めていた。首相退任後には「小選挙区制でなければ郵政民営化はできなかつたよ」とも話していた。

私の政治記者としての最大の仕事は、自民党と社会党が組んだ村山政権が誕生する前夜、「明日、村山政権が出来る可能性は90%以上」と断言し、その理由を説明して政治部長以下を説得して当日の朝刊にこうした原稿を出稿したこと。多くの新聞が朝刊に逆のトーンの記事を出していた中、自民党が社会党の委員長を担ぐ「まさかの政権」が本当に誕生するのだというニュースをいち早く出すことができた。村山政権が誕生した理由は、社会党の中で自民党と組むべしという議員が増えたからなのだが、私はこうした情勢の変化とその理由を当時、裏で社会党との連立工作を担っていた清和会の議員から正確に教えてもらった。

政治家に限らないが、テレビ等を通じての印象と実際の人柄が一致しないことは多い。小泉首相は「改革者」のイメージで国民の人気が高かったが、実際の小泉氏は、記者にとってはとても厄介な人。何度も酒を酌み交わして仲良くなつても、自分に不利になる話は事実であつても絶対に認めなかつた。冷徹な人で、ど

んなに世話をした人でもその人を入閣させるとスキヤンダルが出るかもしれないという人は絶対に入閣させない非常さも貫いた。逆に小泉氏に自民党を追い出された亀井氏は悪役だったが、義理人情に篤い優しい人だった。

先ほど小泉首相が小選挙区制を利用して郵政民営化を成し遂げたと説明したが、平成の政治改革で何が変わったかをまとめると、まず党首の力が大幅に強化され、一方で派閥が弱体化した。それにかつてはカネが飛び交う金権政治が横行していたが、それが格段に改善された。中選挙区時代から当選を続けていたベテラン議員数人に訊いたことがあるが、「政治にかかるカネは○が一つ減った」と皆さん口を揃える。つまり、かつては毎年数億かかっていた政治資金が小選挙区制になって数千万に減ったということ。さらに首相がトップダウンで政策を決めることができるようになり、迅速な政策決定が可能になった。

ただ、今の制度にも色々と問題はある。政治家の質が悪くなったとか、官僚の忖度が横行するとか様々言われる。だが、最大の問題は、今の制度が「任期付き独裁制」と言われ、政権交代可能だと多くの国民が認める野党が存在しないと緊張感のない政治に陥りやすいのに、今、野党がバラバラだということ。日本のモデルであるイギリスでは、野党だけを支援する制度もあり、野党は「女王陛下の野党」と呼ばれている。今後、野党がどうなるかに注目したい。

米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・小島 庸匡

合計

累計金額（2018-19年度）

5,000円

153,000円

新会員オリエンテーション 報告

日 時：9月18日（火）18時30分～

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 中國料理「龍鳳」

参加者：中村、荒木、松永、山口、大迫、児嶋、

宮島、金子、松田、福島、弓削、種生、

篠原（野村證券）



親睦活動委員会のメンバーを含め 13 名が集まりました。この会は半年に 1 回開催されています。前親睦活動委員会委員長の大迫会員の仕切りで、早速オリエンテーションが始まりました。乾杯の挨拶までは食事とお酒はお預けで、最初に会員増強選考委員会の中村委員長から小倉 RC の生い立ちや歴史、「ロータリー情報 10 項目」のお話がありました。続いて、松永より、新会員は親睦活動委員会のメンバーになることや、親睦行事の説明をしました。また、荒木 ロータリー情報委員長から、RC の情報発信に関するお話をありました。新会員の皆さんからは、メーキャップの具体的なやり方の質問なども出され、活発な話し合いが行われました。Q & A が終わり、中村委員長の乾杯の挨拶で、ようやく食事とお酒が始まりました。小倉 RC の歴史や生い立ちの貴重なお話を伺うことができ、大変勉強になった上、とてもおいしい中国料理と紹興酒で大変楽しく、盛り上がることができ、親睦を深めることができました。

【報告者：松永】

第3372回 例会 記録

9月28日（金）普通例会
 • ロータリーソング “四つのテスト”
 • 夫人同伴観月会 於：アーフェリーク迎賓館

会長の時間

角南 雅徳 会長

今日は観月会（ルーナー・ソサイアティ）です。中秋の名月は、太陰暦にて、8月15日の夜に見える月のことを指すそうです。太陰暦では、1~3月を春、4~6月を夏、7~9月を秋、10~12月を冬としており、8月は秋の真ん中です。そこで、旧暦の秋の真ん中、つまり旧暦の8月を中秋の月ということになります。また太陰暦は、月の満ち欠けをもとに、1か月の日付が決まりますが、新月の瞬間を含む日から、月の満ち欠け周期の約半分にあたる 15 日目が満月であると考えられており、今年は、9月24日がそれにあたるそうです。人々が、秋の真ん中の満月を、中秋の名月といって愛るのは、農事と関係があるからです。当時取っていた芋・栗・枝豆などの豊作に対し、秋の収穫の感謝の意思を示しているからだと言われています。今日は、We choose to gaze at the moon. ということで、皆と楽しみたいと思います。



出席報告

佐竹 委員長

2018年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メーキャップ	出席率
当日の出席	66名	43名	—	72.88%
先週の出席	66名	43名	21名	96.67% 修正後

◆ゲスト 0名

◆ご家族 12名

角南、原田(光)、村上(充)、宇城、河野、天ヶ瀬、加藤(守)、小島、合馬、高山、弓削、柏木会員のご家族

◆ビジター 26名(サインのみ)

ニコニコ献金

森 副 SAA

9,000円 : 累計金額 147,500円

西村 和芳 君

9月10日から4日間、中国の深圳に行ってきました。中国のシリコンバレーと言われ、先端技術企業9社を訪問し、アメリカが中国を恐れている理由がよくわかりました。

加藤 守夫 君

たとえ月が無くても心は HAPPY ! ペアでお世話になります。

松永 浩 君

本日は、観月会の参加をありがとうございます。本日は、小倉北区の力丸酒店様においしいお酒をご提供していただきます。ありがとうございます。

夫人同伴観月会



今年の中秋の名月は9月24日で、その後も好天だったため、当夜も居待月（月齢18日頃の月）眺めながらの「お月見の宴」となることを期待していたのですが、台風24号の影響で空は厚い雲に覆われました。しかし幹事団に抜かりはありません。今年もこの会の幹事長・山本（泰）会員のご手配により、会場内のスクリーンに美しい満月が映し出されました。バ





への愛しい思いを新たにしたものと確信しました。その後は美味しい料理に舌鼓を打ちながら、お酒に加えて原田会員の乾杯挨拶の効果もあってか、各テーブルで会話が大いに弾みます。



そして宴もたけなわの頃、松永委員長にアレンジして頂いた馬借の「力丸酒店」と久留米の酒蔵「杜の蔵」による「利き酒会」が始まりました。用意された日本酒は3種類、経年変化とお酒の温度による違いを味わおうという趣向です。

まずは搾って半年の新酒「純米吟醸ひやおろし」。キリッと冷やした切れのある味わいと鼻を抜ける米の香に「これ、いいね」の声があがります。



す。続いてじっくり熟成させた「独楽蔵玄円熟純米吟醸」を常温で。円熟味のある旨みに「私はこれが一番」と日本酒通をも唸らせます。最後は「独楽蔵純米古酒 悠五年」。5年寝かせた日本酒の古酒を味わうのは初めてという人も多く、独特的な熟成香に日本酒の常識を覆されたとの感想も。さらに「円熟」と「古酒」をそれでお燶で頂きましたが、チーズとのマリアージュに日本酒の新たな楽しみ方を教わったひと時でした。

「杜の蔵」営業課長・友山達賀さんが翌日に残らない日本酒の飲み方としてお燶を推奨されたことや、「力



丸酒店」代表の藤本重高さんの福岡県の地酒へのこだわりをお聞きしたことも含めて、触発されることの多い「利き酒会」となりました。個人的な感想で恐縮ですが、私のテーブルに同席されていた某会員が呟いた「お酒も女性も2合(号)まで！」という教訓（？）が、やけに強く印象に残ったことも付記しておきます。

そして最後は、加藤(守)副会長の閉会の辞です。「そろそろ葬祭場にご縁がある年頃となりますが、豪華な結婚式場で観月会ができ、セレブになった気分です」と切り出され、利き酒会でご協力頂いた力丸酒店、杜の蔵への謝辞へと続き、「熟成酒はお燶が合うというのがよくわかりました。だから熟女のことを『おかん』というのですね。日本酒に足を取られないように気を付けてお帰り下さい」と締めて頂きました。観月会の楽しい雰囲気をそのままにユーモア溢れるご挨拶、思わず「座布団2枚」と呼びそうになりました。

【報告者：伊井】

【次回例会予告】

10月12日（金）普通例会

・ロータリーソング “我らの生業”

・卓話

北九州市立大学 外国語学部教授

中野 博文 氏

『アメリカ合衆国の占領統治と
北九州地域におけるアメリカ文化の普及』

